

竹屋陶板浴社長  
京子のつぶやき  
人生それぞれの生き方

No.87

私が尊敬する一人に東大の名誉教授で教育学者の大田堯先生がいます。自宅を開放し経営者や学校の先生たちが集まるサークルを30年以上続けている先生です。ある時「教養とはどれだけ人を受け入れる事ができるかが教養」と話された時があり驚きました。図々しい私は即座に「先生それじゃ私にも教養があるかも知れません」と言ったのを覚えています。

夫が倒れた時も連絡を下さり「京子さん生きてるだけで良いんですよ、生きてるだけで。これから寿夫君(夫)と新しい人間関係を創るんですからね、宜しく頼みますよ」と言ってくれた先生です。その先生が今年99歳になられ連絡を頂きました。「僕も99歳になり執筆活動はこれで終わりにします。今までのお付き合いの方々にお礼を兼ねて特別公開講座をします」とご連絡を頂きました。とても99歳とは思えない元気な声に嬉しく「必ず伺います」と話したのですが、この先生の声を聞いただけでも背筋がぴんとし、無駄な時間を過ごしてないだろうかと自分を振り返ってしまうのです。この先生のエネルギーはどこからくるのでしょうか。

生涯現役を貫いた日野原重明医師が105歳で今年亡くなりました。聖路加国際病院で70年以上生と死に向き合い続けた医師です。「命とは自分が使える時間。その時間を少しでも自分以外の人のために」「命を守るとは憲法を守ること」と御自分の戦争体験からの想いも含め、命と平和の尊さを子どもたちにと、お芝居やコンサートをしながら語り継ぎをしていました。すごい生き方です。

ガンで通われ余命までも宣告されたが元気なお客様が「俺は今が人生で一番幸せかもしれない。いつどうなってもいいと思っているよ。だけどやりたいことが次々と出てくるんだ」と、話していたのを思い出します。あのエネルギーはどこから出ていたのでしょうか。時間を意識し人生を送っているからなのでしょう。

ある講演会で講師の方が終了時に話していたのですが「あなたの人生で最も後悔していることは何ですか」とアメリカの80歳以上の男女100人にアンケートを取ったところ70%の方々が「もう少しチャレンジしとけばよかった」との回答があったそうです。講師の方は人生やり残したと悔やむより、失敗しても挑戦しなさいよと伝えたかったのでしょうか。私はまだ80歳には時間がありそうですがこのまま何の意識もせず日常を過ごすといつの間にか80歳となってしまうような気がします。自分がしたい事、チョット無理かなとか時間がないかなと思っても、一歩進んでやってみることが人生楽しく生きられるコツなのかな、後で後悔しないためにも今なら間に合うかなと心が騒ぎました。私は人生の先輩やお客様との何気ないお喋りの中から様々な生き方を教えて頂ける環境に感謝です。